給与支払報告書（個人別明細書）の記入例

法人番号・個人番号欄については、必ず記載をお願いします！

（源泉）控除対象配偶者の有無等
「有」欄
主たる給与等の支払者が、自己が支払う給与等から配偶者控除をした場合、「○」とご記入ください。
「従有」欄
従たる給与等の支払者が、自己が支払う給与等から配偶者控除をした場合、「○」とご記入ください。
「老人」欄
配偶者控除の対象となる配偶者が昭和32年1月1日生以前である場合、「○」とご記入ください。

受給者本人の合計所得が1,000万円を超える場合、配偶者控除及び配偶者特別控除の適用を受けることはできません。

住所又は居所
受給者の令和9年1月1日（中途退職者は、退職時）現在の住所又は居所を確認してご記入ください。

氏名
フリガナは電算処理上、本人を特定するための必須項目です。フリガナは正確に必ずご記入ください。姓名の間は十分にあけてください。**外国籍の方は在留カードでの氏名（アルファベット等）でご記入ください。**

（記入例）

※ ／ ※ 種別 ／ ※ 整理番号 ／ ※

⑨

支払いを受ける者 ／ 住所又は居所：※ 区分　下関市竹崎町〇番〇号
受給者番号：0123-456789
個人番号：123456789012
役職名：代表取締役社長
氏名：（フリガナ）シモノセキ　タロウ　下関　太郎

種別	支払金額	給与所得控除後の金額	所得控除の額の合計額	源泉徴収税額
給与・賞与	7,500,000円	5,650,000円	2,852,254円	186,000円

（源泉）控除対象配偶者の有無等：有 ○
配偶者（特別）控除の額：
控除対象扶養親族の数（配偶者を除く。）：特定　老人　その他 1
16歳未満扶養親族の数：1
障害者の数（本人を除く。）：
非居住者である親族の数：

特定親族特別控除の額	社会保険料等の金額	生命保険料の控除額	地震保険料の控除額	住宅借入金等特別控除の額
310,000	992,454	115,000	44,800	

（摘要）前職：株式会社下関商事　令和8年3月30日　退職
支払金額：478,700円　源泉徴収税額：0円　社会保険料：4,860円

生命保険料の金額の内訳：新生命保険料の金額 24,000円　旧生命保険料の金額 36,000円　介護医療保険料の金額 48,000円　新個人年金保険料の金額 53,000円　旧個人年金保険料の金額 72,000円

住宅借入金等特別控除の額の内訳：住宅借入金等特別控除適用数　居住開始年月日（1回目）年 月 日　住宅借入金等特別控除区分（1回目）　住宅借入金等年末残高（1回目）
住宅借入金等特別控除可能額　居住開始年月日（2回目）年 月 日　住宅借入金等特別控除区分（2回目）　住宅借入金等年末残高（2回目）

（源泉・特別）控除対象配偶者：フリガナ シモノセキ　マチコ　氏名 下関　町子　区分　個人番号 234567890123
配偶者の合計所得：　国民年金保険料等の金額 176,460円　旧長期損害保険料の金額 19,600円
基礎控除の額 630,000円　所得金額調整控除額

控除対象扶養親族等：
1 フリガナ シモノセキ　ハナコ　氏名 下関　花子　区分 50　個人番号 345678901234
2 フリガナ シモノセキ　キョウコ　氏名 下関　響子　区分　個人番号 456789012345
3 フリガナ　氏名　区分　個人番号
4 フリガナ　氏名　区分　個人番号

16歳未満の扶養親族：
1 フリガナ シモノセキ　ジロウ　氏名 下関　次郎　区分　個人番号 567890123456
2 フリガナ　氏名　区分　個人番号
3 フリガナ　氏名　区分　個人番号
4 フリガナ　氏名　区分　個人番号
5人目以降の控除対象扶養親族の個人番号／5人目以降の16歳未満の扶養親族の個人番号

未成年者	外国人	死亡退職	災害者	乙欄	本人が障害者 特別	本人が障害者 その他	寡婦	ひとり親	勤労学生	中途就・退職 就職	退職	年	月	日	受給者生年月日 元号	年	月	日
											○	8	4	1	昭和	52	11	25

（市町村提出用）

支払者：個人番号又は法人番号 1234567890123
住所（居所）又は所在地：下関市南部町〇番〇号
氏名又は名称：〇〇商業株式会社　（電話）083-231-〇〇〇〇

受給者番号
通知書に表示される桁数には上限があり、上限を超える場合は左側より表示されます。

個人番号
受給者のマイナンバーをご記入ください。

特親
特定親族特別控除の対象となる扶養親族の数をご記入ください。

特定親族特別控除の額
特定親族特別控除額の合計額をご記入ください。

前職合算している場合
摘要欄に支払者の氏名又は名称、支払金額、源泉徴収税額、社会保険料をご記入ください。

所得金額調整控除額
年末調整の際に、所得金額調整控除の適用がある場合には、所得金額調整控除の額を記載してください。

基礎控除の額
年末調整の際に適用された基礎控除の額を記載してください。

16歳未満の扶養親族
16歳未満の扶養親族の氏名・フリガナ・マイナンバーをご記入ください。
また、16歳未満の扶養親族が国内に住所を有しない方である場合には、区分の欄に「○」とご記入ください。

（源泉・特別）控除対象配偶者
配偶者控除の対象となる配偶者の氏名、フリガナ及びマイナンバーをご記入ください。
また、控除対象配偶者が非居住者である場合には、区分の欄に「○」とご記入ください。

控除対象扶養親族等
控除対象扶養親族又は特定親族の氏名、フリガナ及びマイナンバーをご記入ください。
また、特定親族特別控除の適用を受けた場合は、特定親族各人別の特定親族特別控除の額に応じて、区分の欄への記入が必要です。

●特定親族特別控除の額の区分

特定親族特別控除の額	区分（特定親族が居住者）	区分（特定親族が非居住者）
63万円	10	11
61万円	20	21
51万円	30	31
41万円	40	41
31万円	50	51
21万円	60	61
11万円	70	71
6万円	80	81
3万円	90	91

寡婦控除・ひとり親控除
寡婦又はひとり親に該当する場合は「○」とご記入ください。

中途就・退職
就職退職した方について、該当欄に〇印を付け、その年月日をご記入ください。

支払者
支払をする方のマイナンバー又は法人番号をご記入ください。

受給者生年月日
カナ氏名とともに電算処理上、本人を特定するために必要な項目です。**正確にご記入ください。**

※さらに詳細な記入方法につきましては、国税庁ホームページの「令和８年分　給与所得の源泉徴収票等の法定調書の作成と提出の手引」をご覧ください。

※給与支払報告書（個人別明細書）がご必要であれば、下関市ホームページ内の「令和９年度（令和８年分）の給与支払報告書作成について（事業所の皆様へ）」から印刷してご利用ください。